

第103回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第10日目 7月18日(日)

4回戦	石巻市民球場	2時間	15分	打安点盗犠四三残失併
富谷	0 0 0 0 1 0	0 0 0	0	【富】 34 6 1 0 2 6 4 11 2 1
仙台三	0 0 0 0 0 1	0 0 0	1x	【仙】 32 7 2 0 3 0 3 5 1 0
(延長10回)				
(球) 菅原 幸 (一) 沼辺力也 (二) 布田秀斗 (三) 松浦茂樹				
【富】 伊東 藤田	▽本塁打 なし			
【仙】 佐藤千, 小野 藤原	▽三塁打 なし			
▽暴投 なし	▽二塁打 北條, 鈴木, 山中 (富) 菅原唯, 尾形, 菅原啓 (仙)			
	▽捕逸 なし			

【評】

富谷、仙台三ともに安定した投手力と堅守も併せ持つ、カラーの似た両校の戦いは、息詰まる投手戦となった。

富谷伊東、仙台三佐藤千の両先発は4回まで3塁ベースを踏ませず、一步も引かない展開となった。試合が動いたのは5回で富谷はランナーへのけん制が悪送球となり3塁へ進むと、2番櫻田のスライズで先制した。

一方仙台三は6回先頭の菅原が2塁打で出塁すると、尾形の適時打で追いついたが、続くチャンスは、後続が抑え込まれた。7回から仙台三は小野二継投し、終盤は両投手が踏ん張り、延長となった。

4回戦	石巻市民球場	2時間	25分	打安点盗犠四三残失併
東北学院	0 1 0 0 2 0	0 0 0	0	【仙】 35 9 3 0 1 1 8 7 5 0
東	0 5 0 3 1 0	0 0 0	x	【東】 29 7 7 2 5 6 3 7 1 1
()				
(球) 武田 徹 (一) 小松宗夫 (二) 佐藤拓哉 (三) 佐々木勝弘				
【仙】 藤原, 千葉達, 鈴木, 千葉優 伊藤	▽本塁打 なし			
【東】 畠山, 伊東 加藤	▽三塁打 及川 (学)			
▽暴投 なし	▽二塁打 高橋, 小林 (仙) なし (東)			
	▽捕逸 なし			

【評】

第5シードの東北学院が、終始有利な展開で熱戦を制した。

2回裏の東北学院の攻撃、1満塁から1番大洞の適時打、2番今野の押し出し四球の後、3番及川の走者一掃の三塁打で一挙5点。4回裏にも無死満塁から、犠飛と失策絡みで3点を追加。救援した主戦伊藤が仙台東打線を抑え込み、優位に試合を進めた。

仙台東は、東北学院を上回る9安打を放ったが、好機をものにすることが出来ず3点を取るのが精一杯だった。また、四球と失策が失点に絡んだのが悔やまれる。

4回戦	鹿島台中央野球場	2時間	17分	打安点盗犠四三残失併
仙台西	0 0 0 0 2 0	0 0 0	0	【仙】 27 4 2 1 5 4 4 7 0 2
柴田	1 0 0 0 0 0	0 0 0	0	【柴】 27 4 1 2 2 6 1 7 2 1
()				
(球) 西山 充 (一) 大槻充夫 (二) 高橋正博 (三) 小倉貴仁				
【仙】 櫻井, 黒川 安川	▽本塁打 なし			
【柴】 谷木 舟山	▽三塁打 沼田 (柴)			
▽暴投 なし	▽二塁打 なし (仙) 大和田 (柴)			
	▽捕逸 なし			

【評】

仙台西が、選抜出場校柴田に対し、粘り強く守り、粘り強く攻めて勝ちをもぎ取ったゲーム。

柴田は1回裏、1番、我妻、四球。盗塁の後、2番、横山の内野ゴロの間、一死三塁とし、3番、舟山の左翼犠飛により、無安打で労せずして先取点をあげた。

仙台西は、5回表、5番、黒川が単打で出塁、6番、安川が犠打で送った後、7番、山木のショート正面のゴロがエラーとなる間に同点。8番、長谷部が犠打で、2死2塁とし、9番、田中の適時打で、勝ち越した。ゲーム後半、両軍の投手が要所を締めた結果、両軍とも得点することはできなかった。全体的に、仙台西の継投、2番手、主戦・黒川の落ち着いた投球、又、右翼手、田中の好守備が光った。仙台西は第84回大会優勝以来、19年ぶりとなるベスト8入りを果たした。

4回戦	鹿島台中央野球場	1時間	45分	打安点盗犠四三残失併
東北学院 榴ヶ岡	0 0 7 2 2			【榴】 23 9 10 4 2 7 0 6 0 0
石巻商業	0 0 0 0 0			【石】 16 2 0 0 1 4 4 6 1 0
(5回コールド)				
(球) 三浦 徹 (一) 高橋弥寿仁 (二) 黒沼 修 (三) 山下大輔				
【榴】 針生, 青田, 諸原 和野, 斎藤	▽本塁打 竹長 (榴)			
【石】 今泉, 阿部航, 木村遼 新田	▽三塁打 伊東 (榴)			
▽暴投 木村遼2(石)	▽二塁打 時山 (榴) なし (石)			
	▽捕逸 なし			

【評】

部員12人で2014年以來のベスト16進出となった石巻商業の先発は今泉。変則的な投球フォームから、走者は出すものの1・2回を無失点で切り抜ける。3回2アウトまで抑えるものの突如制球を乱し、3四死球と長短打で失点する。その後、マウンドをエース阿部航に譲ったものの、守備の乱れもあり、この回7失点する。

攻める榴ヶ岡は4回に2点を追加し、さらに5回には4番竹長の大会15号ツーランホームランで試合を決めた。榴ヶ岡は針生、青田、諸原の継投で石巻商業の攻撃を散發2安打で完封し、ベスト8進出を決めた。